

おおつの青年農業者のみなさんを紹介します「季楽里(きらい)」

担い手の確保・育成・定着が地域農業の生産基盤を維持し、持続可能な農業、農村地域の維持・発展につながります。

大津地域青年農業者クラブ「季楽里」は、大津市内において、農業に従事している青年農業者の有志11名で組織されています。

令和4年2月10日、経営上の課題の解決や技術の向上を目指して行ったプロジェクト活動の成果の発表会が開催されました。今年度は3名の会員が発表を行い、審査及び講評が行われました。

今後も、会員のみなさんがお互い切磋琢磨し、自身の農業経営や農業技術を向上され、大津の農業がますます発展していくことを期待します。

プロジェクト発表会の様子。コロナ禍のため参加者を減らして開催されました。



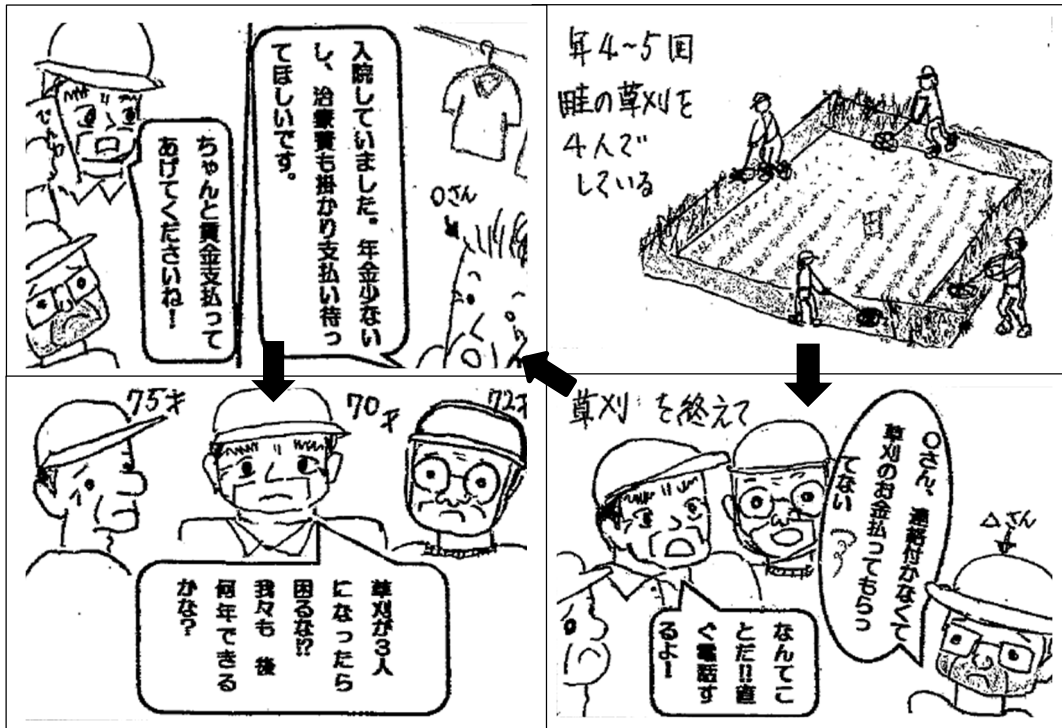
地域の農業の将来について考えてみませんか

わたしたちのまちの農業が安定的に継続されていくためには、かけがえのない農地を適切に守り、引き継ぐことが大切です。

- ◇自分は、あと何年農業を続けていけるかな
- ◇この先、耕作をやめてしまう仲間が増えていきそうだな
- ◇いざという時、だれか農地を引き受けてくれる人はいるのかな



地域の農業を支えてきた方達の高齢化や後継者不足で、深刻な問題が生じてきています。



一例を紹介します

持ち主4人で草刈をしていましたが、○さんは△さんに委託して町を出て行きました。ある日、草刈を終えて、お茶を飲んでみると△さんが……。

だから“今”

地域の農業を だれが、どうやって守っていくのか 話し合っていきましょう。